

Rotary

イマジン  
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗

幹 事 塚越 淳史

会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2970号 2022年9月27日(晴れ) 第12回例会 会員数112名

## ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長  
司 会 副SAA菊池(信) 会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 魚料理 肉料理 香の物

汁 御飯 デザート



## ビジター紹介

細谷副会長

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,589名

卓話講師 RI第2550地区 友地区代表委員

天川主税様(宇都宮陽東RC)



## 会長挨拶

加藤 勝朗 会長

皆さん、こんにちは。日本のロータリアンには3つの義務があります。会費納入、例会への参加、『ロータリーの友』の購読がそれです。この3つの義務は同時に権利です。ロータリアンにはロータリー財団の資金を使う権利があります。世界中のどここのロータリークラブへでも例会参加の権利があります。そして、『ロータリーの友』への投稿の権利があります。太城ガバナー年度(2017-18年度)では、毎月必ず2550地区からの投稿がありました。圧巻は6月号に6つの2550地区の記事と投稿があり、この記録はいまだ破られていません。しかしこれは5年前の昔の話です。『ロータリーの友』は1953年1月の創刊以来その理念は変わりませんが、毎年変化しています。今日は新鮮な『ロータリーの友』のお話が聞けると、楽しみにしています。



## 幹事報告

塚越 淳史 幹事

◇レターBOXにクラブ現況報告書を配布。



## 委員会報告

◇スマイルボックス委員会 炭田委員長

RI第2550地区 友地区代表委員 天川主税様

本日、卓話よろしくお願ひします。

## 「3分間スピーチ」



若度哲久会員

こんにちは！ロータリー29年目の若度です。私は昭和29年9月21日生まれで、本日葬儀があります安倍さんと生年月日が一緒です。

安倍さん、色々と言われていますが、こと外交に関しては頑張ったと思います。私は娘の一人がヨーロッパ人と結婚していて、今、マルタ共和国に住んでいます。英連邦とEUに加盟し、通貨はユーロですが、あまりなじみはない国だと思います。先月バカンスで3週間程来ていた義理の息子アンドレと話していたら、日本との関係は、100年以上前の第一次世界大戦の時、日英同盟のもと海軍の艦隊がマルタに派遣され、2年間にわたり地中海の病院船や各国の船をドイツの無差別攻撃から守って、非常に高い評価を得たそうです。只、残念ですが、70数名の方が戦死され、慰霊碑が英海軍墓地にあるそうです。そこを100年以上前に、皇太子だった昭和天皇が英国訪問のときに慰霊され、100周年の折には、日本の首相として唯一公式訪問された安倍さんが献花されたそうです。ちなみにアンドレの祖父のお墓もそのすぐそばにあるそうです。今回は私のささやかな国際交流で

聞いた話をさせていただきました。奇しくも今日、アンドレの誕生日なので、今夜、片言英語で気楽に楽しく話したいと思っています。

今回は、私のスポンサーで「ロータリーは言われたら何事も断ってはいけない」と教えられた八城さんをお願いしました。

※次回3分間スピーチは八城光男会員



## 卓 話

「ロータリーの友について」



R I 第2550地区 友地区代表委員  
天川主税 様

皆さま、こんにちは。本日は、「ロータリーの友月間」ということでお招きいただきまして、誠にありがとうございます。友代表委員として、もう一度、『ロータリーの友』への理解を深めていただけるよう、パワーポイントを見ながら卓話させていただきます。

- パワーポイントにて説明 -

本日のテーマは、「『ロータリーの友』は創刊70周年を迎えます。」ということで、大きく4つに分けて、『ロータリーの友』の歴史のおさらい、『ロータリーの友』電子版アーカイブについて、『ロータリーの友』は国際ロータリー(R I)認定の機関雑誌であるということ、最後に我々友委員会からのお願いについてお話いたします。

### 1. 『ロータリーの友』の歴史

我々のロータリーは、日本で1920年に、当時三井銀行の重役だった米山梅吉氏が初めて東京に設立した、ということをご存知の方もいらっしゃると思います。それから30年以上経ってから、『ロータリーの友』は創刊されました。もともと日本は一つのロータリーしかありませんでしたが、1952年7月に、日本のロータリーは2地区に分割されることになりました。分割後もお互いのことを知っていたいという思いから、翌1953年の1月号から、両地区に共通の雑誌が発行されました。この時は指定の機関雑誌ではなく、1980年7月にR Iの認定を受けて、今のRotaryという文字とロータリーの友と両方掲載されたということになります。このロータリーの歴史を、『ロータリーの友の手引き書』から引用させていただきます。

「1952年4月25日、大阪市で開かれた地区大会では、次年度から日本が2つの地区に分割されることが決定していました。それまで一つの地区としてまとまっていた日本のロータリアンが2地区に分かれるわけですから、寂しさと期待の入り交じった雰囲気が当時の人たちにはあったようです。そのようなロータリアンの気持ちから、2地区になってからも連絡を緊密にするため、共通の機関誌の創刊が企画されました。」

1952年7月に、東京で発行する、定価を50円とする、名称は『ロータリーの友』とするなど、内容が決まりました。余談ですが、名称は『主婦の友』からヒントを得たとのこと。『ロータリーの友の手引き書』は、ロータリーの友のサイトからダウンロードすることが出来ます。

『ロータリーの友』は、最初は全部横組みでしたが、1972年1月から、横書きと縦書きを分けた形式になり、両面が表紙となりました。横組み-左側からはR I関係の記事、特集、ロータリーに関する記事を中心に取り上げ、縦組み-右側から開いていきますと、投稿を中心に、国内ロータリークラブの活動や個人の意見や経験談、職業上の知識や会員個人のエッセイなど、会員同士の交流を深められるものになっております。

### 2. 『ロータリーの友』電子版アーカイブについて

これまでの『ロータリーの友』は、全巻、電子版アーカイブでお読みいただけるようになりました。閲覧方法は、まず『ロータリーの友』のウェブサイトを開いていただき、『友』電子版アーカイブをクリックし、ID、パスワードを入力します。ID、パスワードは、クラブ毎に変えています。『ロータリーの友』の閲覧については、『友』事務所でデータをとっていますので、2550地区の皆様で、是非、閲覧していただければと思います。また、『ロータリーの友』9月号(18～19ページ)にもアーカイブの入り方の説明がありますのでご参考にして下さい。この9月号には、70周年記念ということで、1952年からの『友』の歴史が書いてあります。これを見ていただくと、ロータリー自体の歴史もわかりやすいかと思えます。是非とも、目を通していただければと思います。

### 3. 『ロータリーの友』は国際ロータリー(R I)認定の機関雑誌

アメリカ本部で発行している『Rotary』もしくは『ロータリーの友』を、会員は購読する義務があります。R Iに認可を受けるためには、指定した記事を掲載する、年に6回以上発行するなどが

あります。また、公式なロゴでなければ掲載できないなど、厳しいところがあります。7月号は、R I会長の写真を掲載するというのが義務づけられています。今年度、8月以降の表紙は、障害のある人が創作した作品で表紙を飾っています。「アートは健常者の特権ではありません。障害のあるなしにかかわらず、豊かな才能と表現で彩られた作品を掲載することでD E I (多様性、公平さ、インクルージョン) 推進に取り組むロータリーの在り方をアピールする」ということです。

#### 4. 友委員会からのお願い

『ロータリーの友』はロータリアンを結ぶお手伝いをします。是非とも、ご活用下さい。ここで、二つお願いがあります。一つは、本日の卓話を聞いて、『ロータリーの友』へのご意見等があれば言っていただければと思います。私の方から友事務所へ伝えたいと思います。もう一つは、創刊70周年記念の事業として、夏井いつき先生の評価のもと、俳句コンテストをやることになって

います。是非、応募していただければと思います。また、皆さんからのご投稿もよろしくお願い致します。写真については、ただ並んで集まっている集合写真ではなく、活動の内容がわかる、一生懸命やっている光景がわかる写真をお願いします。

最後になりますが、ガバナー月信3月号に、「ロータリーの友月間」ということで、佐貫直通ガバナーと、ロータリーの友委員会の鈴木宏直前委員長の対談があります。こちらもご覧いただければと思います。皆様、日々お忙しいと思いますが、『ロータリーの友』への理解を深めていただきまして、読書率の向上と活用促進、また、投稿掲載へのご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。

※次号、『友』10月号のおすすめ記事として「私は空気を読みません」という西アフリカ出身の方の投稿記事をご紹介しますので、是非、ご一読ください。